

お客さまの高齢化に備えましょう！

VOL.10



江端(佐治)ひとみ

シニア検定はころばぬ先の杖

第10回は、広島県で日本シニア検定 / 日本ケアセラピスト協会の個人認定校としてご活躍いただきながら、多くのご高齢者様に実際に触れ合い、癒しを提供されている“かほりの箱”代表 国元洋子先生の活動についてご紹介させていただきます。

香りに対する興味から、触れ合うことの素晴らしさに魅せられて20年。公務員を早期退職して始めたアロマセラピーで高齢者施設との関わりも15年以上になります。

近年私もお客様もお互い齢を重ね、心身の変化に戸惑う場面が多々ありました。どこかで勉強できるところはないかと思っていた時、ある専門誌で日本シニア検定協会のことを知り、どんなことが学べるのか聴きたくて、名古屋の協会本部へ行きました。

ガイダンスを受け、日本シニア検定の目的、これから目指すこと、ケアセラピストの必要性などを聴き、私にとっては新鮮な情報ばかり。

『これって私が抱えている思いにピッタリ応えてもらえる』と、確信し、学習を始めることにしました。と言っても、シニアに達した私ですので、理解や覚えに不安もありましたが、根気よく学習を続け、無事シニア検定、ケアセラピスト資格を取得することができました。

今ではお客様に限らず、ご高齢者の方々に安全・安心の対応ができるようになり、さまざまな場面で役立っています。

実際にシニア検定を学んで本当に良かったと感じた街の中でのある出来事について、ここでご紹介させていただきたいと思います。

———街の中心地、電車のレールと敷石の微妙な隙間などがある大きな交差点での出来事でした。多くの老若男女が信号待ちをしていて、私の横には歩行器を持った高齢の女性がいました。「え？この小さな歩行器は電車の線路を越えられるのだろうか？」と、私はふと気になりました。

そして信号が変わり、一斉に横断が始まり、私も足早に歩き始めたものの、途中で高齢の女性が気になり、振り返りました。

そこにはやはり、歩行器の車輪が線路に挟まり動けない状態の女性がいました。

すぐに引き返し「お手伝いしますね」と声掛けをしたうえで、車輪を溝からはずし、一緒に歩き始めたものの、信号は点滅から赤に変わり、少し焦りましたが、転倒の危険も考えられるので思わず片手をあげて、ペースを考えながらやっと、渡り切りました。

この時私は、シニア検定を学んでいたからこそ、気付きや対応ができたのだと嬉しく思いました。

同時に“予防”“自助”“支え合い”には学びが必要だと改めて感じました。

これからも支え合いや予防には何が、どんなことが必要かを常に学びながら、杖ではなく笑顔に寄り添える仲間を増やしていきたいと思えます。



かほりの箱
代表 国元 洋子

シニア検定 / ケアセラピスト / ビューティケアセラピストはeラーニングで受講できます。詳しくは [グローリア 21](#) [検索](#) [トップページ](#)をご覧ください。

(株) グローリア 21 日本ケアセラピスト協会 / 一般社団法人 日本シニア検定協会 本部長
〒454-0927 名古屋市市中川区打中 2-105

お問合せ Tel : 052-354-6211 Mail : gl21@asai-clinic.co.jp